

# オンライン授業・独学での活用法

2020年に世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響を受け、教育機関における授業手法は大きく変化しました。感染拡大防止を目的としたオンラインでの学習・教育環境の整備が進み、運営ノウハウが蓄積されるようになっていきます。教育DX (Digital Transformation) というデジタル技術を活用したカリキュラムやコース、教授法などの革新も進み、日本語教育分野でも対応が求められています。

本書のような、いわゆる日本語教科書においても、オンライン授業を前提とした編集や、デジタル技術を用いた展開が急務となり、本書でも本書の活用法の解説動画配信や、デジタル副教材の配信、オンライン研修など様々な取り組みを進めています。ここでは、オンライン授業や独学での本書の活用法について紹介します。

## 1 オンライン授業での活用法

本書では、オンライン授業での使用を想定した各レッスンの活動用ワークシートを作成し、凡人社公式Webサイトにて公開しています。これらのワークシートは、授業運営の軸となる補助教材として使うことを念頭に作成されたデジタル副教材で、本書を使った活動に対応しています(詳しくは、「付録ワークシートを用いた本書の活用法」をご覧ください)。

オンライン授業で使用する場合は、授業の当日、チャットボックスなどでワークシートを学習者に配布してください。その後、本書と照らし合わせ、グループごとにブレイクアウトルーム(参加者を少人数のグループに分けたミーティングルーム)で話し合いながら、ワークシートを軸として活動を進めます。あらかじめリーダー役の学生を決めて、画面共有でファイルを共有し、その場でグループの答えを記入してもらうようにすると自律的に活動が進められます。あるいは、事前にLMS(学習管理システム: Learning Management System)などでワークシートを課題として配布し、授業では、ブレイクアウトルームの中で発表活動や意見交換を行うことも効果的です。この場合、オンラインでの教室活動と自宅での学習とをスイッチさせる反転授業として進めることができます。

教師が解説を行うときにも、凡人社公式Webサイトで配信されているコンテンツを画面共有しながら進めることで、本書とデジタル副教材、そして、教師によるオンラインでの解説とを組み合わせた教育を展開することができます。

## 2 独学での活用法

日本語能力試験などの資格試験準備のために本書を独学用を使用する場合には、まず先に各レッスンの語彙解説をよく読み、語や表現の意味と用法について学習してください。その後、テキストを読み進め、意味がわからない部分がないか確認をします。本文の理解度をチェックするために練習問題を解き、答えと解説を確かめてください。巻末資料として英語・中国語・韓国語・ベトナム語の本文翻訳がついていますので、最後に本文翻訳を読んでご自身の理解が正しいかチェックするとよいでしょう。



凡人社公式Webサイトにて配信されている各種ワークシートやクイズ、オンデマンド映像などを利用することで、復習をより効率的に進めることも可能です。別売り教材『《書き込み式》表現するための語彙文法練習ノート—語/コロケーション/慣用語/表現文型—』(凡人社)と併用すれば、さらに確実に言語知識を定着させることができます。

また、本書を日本語力のブラッシュアップ用に使われる場合には、科学的な問いについて考える読み物として使用することも可能です。本書は一般的な専門書と同じサイズで刊行されています。バッグに入れて持ち歩き、時間があるときに興味のあるテーマから読んでみることをおすすめします。知らない語があったら語彙解説をよく読んで、意味と用法について学習しましょう。さらに、周囲の人々と各レッスンのアクティビティや発展活動に取り組み、調べ・考え・伝える活動を行うことで、総合的な日本語コミュニケーション能力育成に役立てましょう。

以上のように、凡人社公式Webサイトにて提供されているデジタル副教材を用いることで、教室や授業時間以外でもサイバー空間での活発な教育・学習活動を進めることができます。時や場所に制約されない学びの無限の広がりを実現すべく、それぞれの状況に合わせて関連教材『《書き込み式》表現するための語彙文法練習ノート—語/コロケーション/慣用語/表現文型—』(凡人社)や、凡人社公式Webサイトの学習・教育用デジタルコンテンツをご活用ください。

日本語を学ぶ人々の豊かな学習・教育が実現し、人と人がつながり世界的課題を乗り越えるために協働する環境創出の一助となるよう、引き続き様々なコンテンツの作成と配信に取り組みます。凡人社公式Webサイトにて随時配信される情報やコンテンツをぜひともご活用ください。